

イグチケブカゴミムシ

Peronomerus auripilis Bates
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

本県では 1996 年以降の記録がない。近隣では京都府で絶滅危惧Ⅱ類相当に指定される等、本種が減少している地域もあり、本県でも注視が必要と判断した。

種の特徴

体長約 9 mm。背面はやや光沢のある黒褐色で、金色の短毛を生やす。上翅に鈍い銅色の光沢があり、脚は赤褐色。前胸の両側は中央で突出する。平地～低山地の河川敷に生息する。

分布

北海道、本州に分布する。県内では敦賀市中池見湿地の調査の際に得られたのみである。

生息を脅かす要因

県内の情報が少ない。近年は河川敷や湿地は急速に開発が進んでおり、本種には大きな脅威となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、京都府自然環境保全課（2015）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

オオサカアオゴミムシ

Chlaenius pericallus L. Redtenbacher
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

近隣の京都府では絶滅したとされる等、全国の数県で絶滅あるいは絶滅が危惧されている。本県では 1994 年以降の記録がない。

種の特徴

体長約 12 mm。美しい種類で同定は容易。頭部と上翅は鈍い暗褐色、前胸と脚は朱色。上翅側縁も朱色で、翅端部で長三角形に広がる。平地～低山地の河川敷、湿地、畑地に生息する。

分布

本州、四国、九州に分布する。県内ではあわら市布目、坂井市三国町汐見、福井市久喜津町の 3 か所での採集例が知られる。

生息を脅かす要因

県内の情報が少ない。近年は河川敷、湿地、畑地は急速に開発が進んでおり、本種には大きな脅威となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、環境省（2015）、京都府自然環境保全課（2015）、上野ら（1985）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○		○				○

オオトックリゴミムシ

Oodes vicarius Bates
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

全国では数県で絶滅が危惧されている。本県では戦後間もなくに記録があるのみであり、生息情報は不足している。三重県で絶滅危惧Ⅱ類に指定される等減少している地域もあり、本県でも注視が必要。

種の特徴

体長約 13 mm。全体にやや光沢のある黒褐色。長小判形でやや平たい。非常によく似た種類があり、専門家の同定が必要。主に平地～低山地の河川敷や湿地に生息する。

分布

本州、九州に分布する。県内では福井市からの戦後間もなくの記録があるのみである。

生息を脅かす要因

県内の情報が少ない。近年は河川敷や湿地は急速に開発が進んでおり、本種には大きな脅威となる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、環境省（2015）、三重県みどり共生推進課（2015）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○